

新年あけまして
おめでとうございます



平成29年 丑

酉年にちなんで

神様が「十二支を決めるレースを行う」とお触れを出しました。牛は足が遅いので、前日にスタート。牛の頭の上にネズミが乗っています。牛がゴールする寸前、ネズミが牛を出し抜いて先にゴールしました。ネズミは猫に対して「スタートは後日になったから」とウソをつき、猫がゴールしたのは 13 番目でした。

猫と牛、仲間を二匹もだましたネズミはそれ以来、皆の嫌われ者になりました。ネズミにだまされて一日遅れ、十二支に入らなかった猫は怒って、それ以来ネズミを追いかけるようになったということです。ここまでは知っている方も多いのではないのでしょうか。

さて、今年は酉年。酉（鶏）が申（猿）と戌（犬）の間になったのは犬猿の仲とも言われる両者を仲裁していたからだとか。

今年の干支は丁酉。良い年でありますように。

感謝状をいただきました

瀬戸市教育委員会より 掛川地域力向上委員会へ

掛川地域力向上委員会に対して校区での長年にわたる登下校の見守りや、一昨年から始めたせとっ子モアスクール「かけがわっ子ひろば」の運営など、子育て支援活動におおいに寄与しているとして、瀬戸市教育委員会から感謝状の贈呈がありました。



瀬戸市教育長より感謝状を受ける加藤俊男会長

昨年 11 月 13 日（日）瀬戸市文化センター文化ホールにおいて「瀬戸の教育市民フォーラム 2016」の席上で贈呈式があり、深見和弘瀬戸市教育長より掛川地域力向上委員会加藤俊男会長に手渡されました。とくに 1 年半前から始まった「かけがわっ子ひろば」は地域が運営する放課後学級で、ほかには例をみない先駆的事業として注目され、高く評価されています。

瀬戸市消防本部より 下半田川自治会へ

日 時：平成 28 年 10 月 16 日（日）

場 所：下半田川町民会館内

救急救命講習会会場にて

瀬戸市消防本部から寄せられた
感謝状贈呈の趣旨



瀬戸市消防長より感謝状を受ける下半田川副自治会長

本市では、平成 6 年度から救命講習会を開催し、平成 14 年度から年間 3,000 人の受講者数を目標に応急手当の普及啓発に努めており、毎年「救急の日」及び「救急医療週間」に合わせて、応急手当普及の推進に貢献された個人・団体に対し、消防長から感謝状を贈呈しています。

こうした中、下半田川自治会は、平成 15 年度から継続的に救命講習を受講され、瀬戸市全体で救命講習を受講した延べ人数の割合が人口の約 37.7%であるのに対し、下半田川町は町民の約 93.8%の方が既に受講しており、受講者数の割合が非常に高い地域となっています。

このことは、応急手当普及の推進に貢献しており、他の模範であることから感謝状の贈呈をさせていただいたものです。

コミバス運行に代わる新方式の社会実験

瀬戸市では、コミバス下半田川線地域におけるデマンド型タクシー運行の社会実験を模索しています。昨年10月28日、定光寺町民会館において市の担当者、運行事業者と沿線地域の代表者とで第1回運行協議会がもたれました。

<概要>

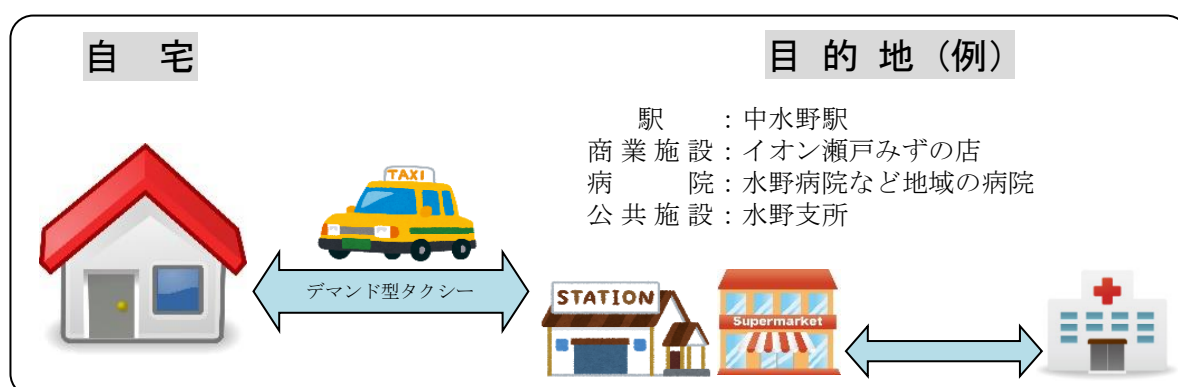
- ・デマンド型タクシー運行のイメージは下図の通り。
- ・第2回目以降の運行協議会を必要に応じてもち、7月ころから約半年間試験運行する。
- ・半年間の試験運行結果を分析し、その後の運行方法を決定する。

☆以上はまだ素案の段階です。詳しい内容については、今後の運行協議会で引き続き検討していきます。

デマンド型タクシー実施イメージ

デマンド型タクシーは 定期運行ではなくて、予約制の乗り合い型タクシーです。

① 自宅から目的地まで、目的地から目的地までを運行する。



② あらかじめ電話で、「いつ、どこからどこまで乗りたいか」を予約して利用する。

① 電話で予約する。
「いつ、どこからどこまで乗りたいか」を伝える。



② 自宅などでタクシーの到着を待つ。



③ 利用する。
(お金を払い目的地まで行く。)



「かけがわっ子ひろば」ボランティア・補助員 募集中！

「かけがわっ子ひろば」のボランティアと補助員を募集しています。

申し出のあった方を登録させていただき、都合のつく時に一日あたり1～3時間程度、指導員のもとで子どもたちの世話をさせていただきます。

資格や特技などがなくてもかまいません。下校後の子どもたちと一緒に遊んでいただける方であればどなたでもOKです。

詳細は「かけがわっ子ひろば」または、掛川地域力向上委員会にお尋ねください。

連絡先： かけがわっ子ひろば 090-7681-1567

掛川地域力向上委員会 0561-48-6165

愛岐トンネル群保存再生委員会

村上真善さんの講演会が開催されました

2016年12月10日(土) 掛川小学校体育館

秋の風物詩にもなった愛岐トンネル群の美しい紅葉。その再生の仕掛人、村上真善さんによる講演会が開催されました。

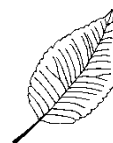
「そういえば昔、定光寺の崖の上にトンネルがあったような…」という古老の記憶の奥深く、さらには草刈機も歯が立たないような竹藪の奥深くに眠っていた旧国鉄廃線跡のトンネル群を自ら発見。そこから地道に開拓を続け、国の登録有形文化財に指定され、年間3万人以上の観光客を集めるまでの9年間の苦楽の道のりを楽しく話していただきました。さらに後半では、私たち掛川地区への力強いメッセージも。

「まちづくりで大切なのは「温故知新」。私たちには、先祖が残してくれた資産を次の世代へとつないでいく使命がある。その地域の資産を活かせるかどうかは、そこに住む人の知恵と工夫しだい。やるかやらないか、それが100年後の地域の在りようを大きく変えることになる。やわらかい発想と遊び心をもって、まずはやってみる！」

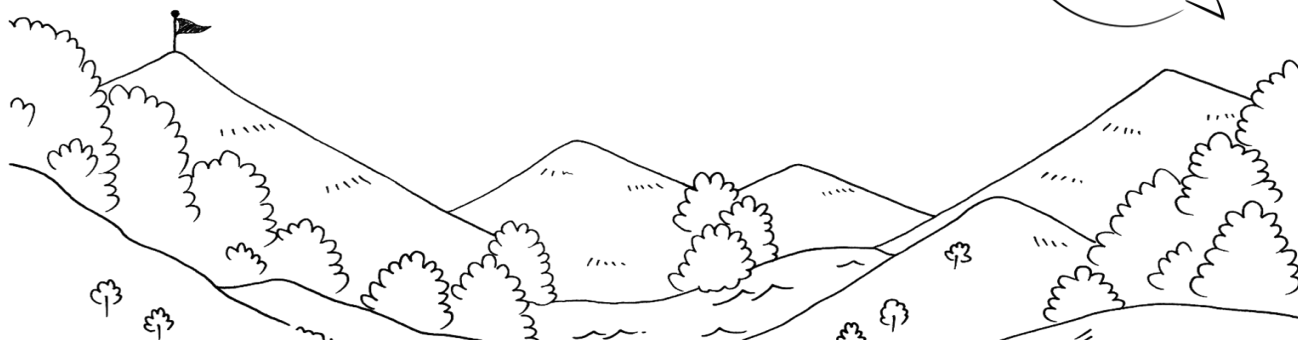
愛岐トンネル群に始まった村上さんの構想は、今後、定光寺や多治見を含む広域的な展開へ。線から面へ。私たちの掛川地区は、その舞台です。

「定光寺をランドマークに、この地域の魅力をもう一度考え直してみたらどうだろう。池さらいのイベントとボートレースとか。自由な発想に次のヒントがある。」

やるかやらないか。子のため孫のため、そしてみんなの幸せのために。トライエブリシング。イケサラオーネ！



LET'S
TRY!



「お助けたい」の活用を！

活動した日	地 域	内 容	対応した隊員数
4月19日（火）	下半田川町	買い物代行	1
6月29日（水）	下半田川町	庭木の剪定	1
7月21日（木）	下半田川町	買い物代行	2
7月22日（金）	定光寺町	庭の草取り、屋敷の草刈り	4
12月11日（日）	下半田川町	庭木の伐採・剪定	5

「お助けたい」が発足し、10か月近くが経過しました。これまでの活動状況は表のとおりです。買い物代行時の車の燃料代や、草刈り機の燃料代は掛川地域力向上委員会が予算だてしています。皆さんに負担していただくことはありません。困っているときは遠慮せず要請してください。お助け活動についての詳細は

「やまびこ第12号」（平成27年12月発行）の「お助けたい活動規定」に示されています。

お助けの申し込み

下半田川町：前田 純二 電話 48-4434
定光寺町：小林久仁 電話 48-5273



収穫祭が行われました

12月8日（木）、掛川小学校で収穫祭が行われました。日ごろ、学校サポートなどで世話をしている地域の人も招待されました。

児童たちは学習田で収穫したもち米で餅つきをし、感謝の気持ちを込めてふるまっていました。



定光寺町の祭祀(民間信仰) 地神さま

村祭りである9月10日が例祭日です。

山中に小さい祠が祀ってありますが、＊かんじょう祭神勧請の由来など全く不明です。

昔は、僧侶の手によって祭儀が執り行われていたと伝えられています。



＊勧請とは、神仏の分霊を他の場所に移し祀ること。

会員の声

花 梨

下半田川町 伊藤幸代

伊藤さんは、掛川小学校に通う二人の娘さんの母親です。日ごろの暮らしの中から最近のひとコマをコラム風に綴り、挿絵も添えていただきました。

伊藤家の母屋に一本の花梨の木があります。秋になると黄色で美味しそうな大きな実をつけます。義母さんが「花梨はね、おいしそうだけど、実が硬くて食べられないよ。せき止めになるから、はちみつ漬けにするといいよ。」と教えてくれました。

それを聞いた時、私が幼い頃、花梨のシロップを母が飲ませてくれた記憶がよみがえりました。花梨の実は1つだけ、はちみつ漬けに取り置きしました。後の残りはどうしようかなと考えたところ、お店で見る洋梨のような形でさわやかなあまいかがります。とてもいいかお

りがするので、お風呂に入れてみようと思い、さっそく湯船に浮かべました。

すると娘たちは「花梨の実なの？いいにおい！」「甘い歯磨き粉みたいなかおりがする！」と喜んでくれました。お風呂で季節を感じることができるのでこんな身近なもので喜んでくれるのなら来年も花梨風呂をしたいと思いました。

そして今は、花梨のはちみつ漬けができ上がるのを家族みんなで楽しみに待っているところです。



新春お年玉クイズ

- ① ルイ16世の奥様は、
- ② 今年の大河ドラマの主人公は、
- ③ 千成ひょうたんが馬印の人は、
- ④ 初代アメリカ大統領は、
- ⑤ 大きな蟹です、
- ⑥ 「アナと雪の女王」の雪だるまは、
- ⑦ 朝顔と花う時の必需品、
- ⑧ 今、これなにしてる、

応募方法など

- ・上の①から⑧にしたがって右のマス目にひらがな、またはカタカナを書き込みます。次に、二重枠の中の文字を並べ替えて人物名にし、最上段の太枠の中に書いてください。
- ・でき上がったら、書き込みの済んだパズル枠を切り取るかコピーして公民館のポストに入れてください。事務局あてFax、メール送信も可。
- ・応募資格：掛川地区在住の方。大人でも子どもでもかまいません。
- 住所・氏名を忘れず記入してください。広報誌「やまびこ」に対する感想なども添えていただけるとうれしいです。
- ・正解者の中から厳正な抽選の上、5名にすてきなプレゼントをします。たくさんの応募を待っています。
- ・応募締め切り：平成29年2月1日（水）（解答および当選者名とプレゼントの内容は次号で発表）

応募者住所氏名：